



N e s t

2024年度 活動報告



Nestについて

西粟倉村をフィールドに、学びをプロデュースしています。

Nestは地域をフィールドに学びの機会をつくり、子どもたちはもちろん、保護者、地域の方、先生たちをサポートし、一緒に行動するパートナーです。

子どもたちとは、西粟倉村に暮らす子どもたちに加えて、将来的に移住する未来の子どもたちも含みます。それぞれに自分らしさを大切に育んでいってほしいと願い、子どもたちの近くで活動していきます。

地域には子どもたちにとっての学び場が豊かにある。

西粟倉村とその周りには自らの意志に基づいて暮らしをいとなむ大人たちが多くいます。

Nestは彼らと一緒に子どもたちの学びの機会をつくっていきます。

幼少期には、地域のいろいろなところに飛び出してみて「おもしろい」と感じる機会を。

小学生には、見聞きを通じて「おもしろい」を掘り下げてみて、自分にとっての意味を考える機会を。

中学生には、人と一緒に「おもしろい」を形にしてみて、将来について想像する機会を。

その先には、人が「いきいき、のびのび」と生きていくれる社会がある。

自分らしさは、大人や先輩・後輩、同世代との関わり合いの中で形成されます。

様々な経験をしながら個性を育み、社会に出た人が、将来的に愛着を感じて地域を支える人になる。

そして地域が続していく。

そんな未来を想像しながら、まずは西粟倉村の子どもたちが胸を張って15歳の春を迎えるように、子どもたちの「らしさ・まなび・みらい」をひらく活動を行っていきます。

目次

P1 Nestについて

P2 目次・事業一覧

P3 活動報告

P3 教育コーディネーター

P5 あわくらみらいアカデミー

P7 さとのば大学

P8 拠点事業

P9 教育移住窓口

P10 独自事業

P11 会計報告・団体概要・Nest年表・スタッフ紹介

事業一覧

- ・ 教育コーディネーター
- ・ あわくらみらいアカデミー
- ・ さとのば大学
- ・ 拠点事業
- ・ 教育移住窓口
- ・ 独自事業

活動報告

教育コーディネーター

幼・小・中で 32 テーマをプロデュースしました。

西粟倉村から委託を受け、幼稚園・小学校・中学校における地域学習のプロデュースや、学校運営協議会・村教育ネットワークの推進を行っています。

目的

学校と地域をつなげて本物を知るより深い学びを提供します。村全体を学びのフィールドへ変え、子どもたちの村への愛着を高めることを目的としています。幼小中一貫の特色ある教育について、学校教職員・地域住民の望みも踏まえて魅力的な授業をプロデュースしています。

内容

- 幼稚園・小学校・中学校での学び合う授業や活動づくり及び実施の支援（総合学習、地域学習、キャリア教育）
 - ・ 教員へ授業づくりの支援として、ネットワークを活用した地域資源及び人材の紹介や、授業提案を行うコーディネート業務
 - ・ 村のSDGs推進のため、ユネスコスクール（世界基準のESD）の視点を取り入れたSDGsに関わる授業や取組支援
 - ・ 学校経営計画や学習指導要領に沿った授業提案
 - ・ 地域外交流を行っていくため、ネットワークへの参加または構築
 - ・ ICTの活用やプロジェクト型学習の取り組み伴走のシステム化
- 教員等の資質向上に関わる取組
 - ・ 幼小中学校の西粟倉村を貫く特色ある教育の推進を目的とする西粟倉村教育ネットワークのふるさと部会の部会員として、ワークのファシリテーターやノウハウの提供を行う
 - ・ 教員を対象とした研修の設計及び運営
- 学校運営協議会に関わる取り組み
 - ・ 学校と家庭と地域が協働して子どもを育てていく方針を決める学校運営協議会（コミュニティスクール運営）において学校運営協議会委員としてワークのファシリテーターや決定した方針を各学校園、地域での実践における提案や伴走を行なう

■ 百年の森林教育の発信

- ・ 情報発信として村広報の特色ある教育通信の記事掲載

事業費

事業活動費 11,208円

プログラム例

小学校5年生 川の生き物とごみの関係

校内で行われたウォーキングイベントと海事研修から、水辺にゴミがたくさん落ちていることに着目。村内3箇所で水辺のゴミ・水質・水生昆虫の調査を行いました。調査結果を村内の高齢者が参加する「あわくら大学」で発表し、高齢者から昔の川の状況についてヒアリング。1年間の学習内容をパンフレットにまとめ、地域で発信しました。

9/25 水質調査について授業



10/23 河川調査準備授業



10/25 別府地区河川調査

11/05 大茅・筏津地区河川調査

1/20~ パンフレット作り

中学校2年生 キャリアモデルに深く触れる。職場体験インタビュー冊子

5月に地域の事業所で職場体験を行い、その経験を基にインタビュー冊子を作成しました。生徒たちは働く人々の思いや経験を取材し、「これから挑戦したいこと」をテーマに質問を行いました。文章のまとめや写真撮影も自ら担当し、丁寧に仕上げました。この冊子は村内各所に設置され、オンラインでも閲覧可能です。

4/18 冊子づくりガイダンス



4/25 インタビュー練習



5/20 職場体験事前学習

5/21-24 職場体験

6/4・6 インタビュー冊子作成

11/1 冊子綴じ・封筒詰め

活動報告

あわくらみらいアカデミー

99人の子どもたちに10のプログラムを企画・運営しました。

子どもたちの「やってみたい！」の推進と、挑戦する場の企画・運営を行っています。

目的

自分のやりたいことを自覚し、社会と接続しながら周りの人と協力・協調しながらできる力を育みます。

内容

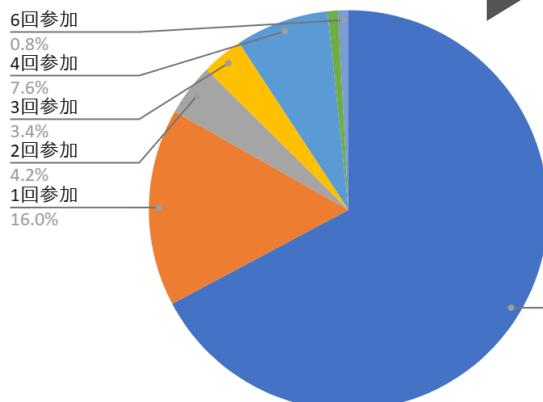
- 対象：小学校1年生～中学校3年生
- 開催日：放課後、休日及び長期休暇中
- 子どもたちの「やりたい」をテーマに地域をフィールドとした活動の企画化や実施運営をサポートしていく仕組みの設計及び運営
 - ・子どもたちが地域の大人と協働できる場の設計及び運営
 - ・子どもたちが自ら考え実施し、達成感を経験できる場の設計及び運営
- 百年の森林教育の発信
 - ・情報発信としてSNS（note・Facebook・Instagram）を活用した情報発信を行なう

事業費

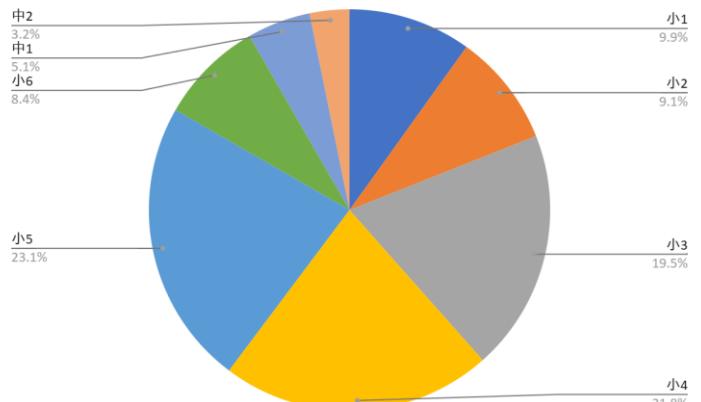
70,783円

参加人数割合

33%は一回でも
参加したことがある



参加したこ...
67.2%



プログラム例

7月 「ビオトープの生き物を調査せよ！」

7月、ビオトープ田んぼで生き物調査を実施。太刀川晴之さん（株式会社エーゼログループ）と共に、子どもから大人まで約20名が参加し、田んぼやビオトープで多様な生き物を捕獲・観察しました。ミズカマキリやタガメなどが見つかり、子どもたちも大満足。小さな工夫で自然と共生できる可能性を実感できる場となりました。



11月 「お泊り会がしたい！Pocket Home Day」

4年生の女の子2人が企画した「Pocket Home Day」を開催。参加者7人で、焼き芋やハンバーグ作り、ゲームや話し合いを通して寝泊まりの1日を楽しみました。起床や準備のスケジュールも自分たちで相談して決定。自主性や協働性が自然と育まれ、「またやりたい！」の声も。子どもたちの“やってみたい”が形になる場となりました。



12月 「クリスマスマルシェ」

子どもたちが企画・運営した「クリスマスマルシェ」をPocketで開催。レジンアクリセやわたあめ体験、からあげ、ゲーム、アート、くじ引きなど、6つのブースで小中学生が来場者をもてなし、笑顔あふれる一日となりました。それぞれが得意を活かして活躍し、「またやりたい！」の声も多数。子ども主体の学びと実践が詰まったイベントとなりました。



活動報告

拠点事業「Pocket」



142 日開所を行ない、自分でやりたいことを決める環境をつくりました。

のべ 459 人の子どもたちがPocketに参加しました。

目的

学習を育む「学育センター」としての役割を果たし、子どもたちや保護者や地域の方が気軽にた
ちよれる環境をつくります。

内容

＜学習支援＞

自然体験：アウトドアギアを拠点から持ち出し、広い自然に親しんでいく。

文化体験：絵や工作、国際交流を通じて文化を育む。

社会体験：自分のやってみたいことを企画、実行したり多様な大人と協働することを通じて
社会に参画する。

ガクイク：「学び方を学ぶ」をコンセプトに学習支援を行なう。

エンガク：保護者向け家庭教育の取組に資する講座を開催する。

＜コミュニティ機能＞

地域食堂：安価に子どもにご飯を提供し、地域の方、村外の方にも開かれた食堂を開くことで
交流の場をつくる

Nest CAFE：お茶と和菓子を提供し、教育や学びに関する話をする機会を作る

事業費

10,850,000円

自然体験



川あそび



自然散策



竹取り

文化体験



作品づくり



薪棚づくり



芸術に触れる



Shopbot体験



アート体験（国際交流）



国際交流

社会体験



高齢者と畠



やってみたいことの企画



国際交流

宿題伴走・ガクイク



宿題伴走



学習支援

2人の子どもたちがガクイクに参加しました。

地域食堂



こども のべ 251人、おとな のべ 368 人が食卓を囲みました。

Nest CAFE



のべ 31 とお茶を飲みながら教育についてお話ししました。

活動報告

教育移住窓口



3世帯の移住検討者の方を西粟倉村で対応しました。

結果 2世帯の移住していただきました。

教育移住窓口では、西粟倉村の教育の魅力発信や、村への移住検討者のサポートを行っています。

目的

西粟倉の教育の魅力を伝えることで、移住検討をしている家族連れに西粟倉に移住を行ってもらいます。村の教育の魅力度を高めながら、児童生徒数を安定的に確保することで、子どもたち同士が学び合い、育ち合う環境を整えます。

内容

- 教育移住窓口We bサイトの運営
 - We bサイトの運営
 - 村内の教育コンテンツの掘り起こし及び情報発信（コラム等）による魅力化
 - 住居、仕事等のコンテンツとの連携の仕組みを構築
- 移住希望者リサーチ
 - 移住希望者のニーズを把握し、効果的な発信につなげる
- 移住促進イベントの参加、開催
 - 教育移住ネットワークへの参加及び構築
 - 移住イベント開催（オフライン、オンライン）

事業費

2,030円

活動報告

独自事業



9 件の視察研修受け入れ・学習プロデュースを行ないました。

SDGs推進事業では役場職員向けに研修を行ないました。

独自事業では、西粟倉での実践を他地域にも広げる「学習する村」の土台をつくっています。

内容

- 学習プロデュース
 - ・ 観察の受け入れ
 - ・ ローカルベンチャーラボフィールドワーク対応
 - ・ スクーリング受け入れ
 - ・ フィールドワーク受け入れ
- SDGs推進事業
 - ・ 役場職員向けの研修

事業費

事業活動費 414,674円

会計報告

2022年4月1日～2023年1月31日

収入 22,715,328円

支出 17,650,929円

収支 5,064,399円

団体概要

名称 一般社団法人Nest

代表理事 福岡 要

理事 今井晴菜、青木采里奈

設立 2020年4月1日

住所 〒707-0504 岡山県西粟倉村影石1435-2

電話 0868-75-3191

メール info@nest-n.org

Nest年表

(2017年) 西粟倉村教育委員会が地域コーディネーター兼務

(2018年) 地方創世推進班を組織 教育委員会から2名任命

(2019年) 教育サポートセンター（仮）の構想開始、あわくらみらいアカデミーなどプロトタイプ運営

2020年 一般社団法人Nest設立 教育ローカルベンチャー推進事業 委嘱

2021年 コミュニティスクールの幼小中一貫運営を開始 学校運営協議会委員 委嘱

2023年 日本財団「子ども第三の居場所事業」採択

2024年 Pocket開所

スタッフ



福岡 要



今井 晴菜



青木 采里奈